

学生担当者報 3

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

Vol. 421
立教 185 年
2022 年
2 月 25 日発行

TEL 0743-63-1511(内線 5817). 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

お知らせ

三月例会

- ・期日 立教 185 年 3 月 25 日
- ・時間 15 時 30 分受付 16 時開始
- ・場所 教庁 4 階講堂

報告

一月例会

去る 1 月 25 日、教庁 4 階講堂において「二月例会」を開催。出席は 19 教区、77 直属。

業務記録

《立教 185 年 1 月 16 日～2 月 15 日》

- 1 月 18 日 事務局連絡会
- 21 日 勉強会チーム会議
- 24 日 学修部部会
- まなびばチーム会議
- 担当者活動部部会

25 日 委員会 例会

編集部部会

担当者活動部部会

27 日 学修大学の部事前研修会

～ 28 日

3 日 人材育成部部会

新刊本会議

4 日 学修高校の部研究室

学修大学の部研究室

担当者活動部部会

春の学生おぢばがえり

プロジェクトチーム会議

5 日 委員会

8 日 研修会チーム会議

「春の学生おぢばがえり ～人の足音を好む～」



3 月になりますと、いつしか木々のこずえにも新芽が芽吹きはじめ、各地から桜の便りを聞く頃になります。さらに周りの田畑もすっかり春の装いとなり、荒田より立ち上がる水気に、ぬくみのご守護をお教えいただき、天然自然の移ろいに倣い、私たちに、おいてもその気配を感じながら、別れや出会いなど、心豊かな季節となります。

ありがたいことに、私の教会には田畑があります。私は農事に携わりながら天然自然のご守護を肌身で感じております。

ある時、経験の浅い私に対して経験豊富な近所の方が、「最高の肥料は何か」と声を掛けてくださいました。回答できないでいる私にその方は、「人はみなチッ素、リン酸、カリの比率がどうか、いつまくなのが効果的だというけれど、食物というのは、日頃の人の

足音を好むんだ。雨の日、風の日、どんな日も足音を聞かせてあげると教えていただきました。」

さらに、「しっかり食物にも『元気に育ってくれよ』と声を掛けることが大切なんだ。こうしたこと継続的にすること、これを丹精というんだ」と教えていただきました。

いよいよ 3 月 28 日に行われます「立教 185 年春の学生おぢばがえり」が近づいてまいりました。本年は 3 年ぶりに本部中庭にて、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上で開催をし、ありがたくも真柱様よりメッセージ（代読）を頂戴いたします。

この喜びを分かち合いたいと実行委員会の学生たちと会議を重ねてきました。コロナ禍であっても何とか仲間におぢばがえりの大切さを伝えたいという熱意を間近で感じ、学生たちの「おぢばがえり」

学生部 委員

上村 知孝

に対する思いが本物である事を確信し感銘を受けました。

この学生の思いを実らせるために、少し道を先に歩む者として、この 2 年間のコロナ禍の経験を活かして、コロナ禍でもできる私たちの声掛け、歩み寄る努力をもつて、学生たちの努力が実っていくものになるのではないかと切に感じます。

立教 185 年の真柱様の年頭のご挨拶では、「伝える側の姿勢としては、信仰姿勢、普段から教祖の教えられたことを身に行い、なるほどの人になる努力をすることを怠ってはならないと思います。その人の信仰から伝わるということ、やはりあると思うのであります。」とお言葉を頂きました。親神様・教祖、そして真柱様にお喜びいただけるように、また素晴らしき春の学生おぢばがえりになるように信仰姿勢を学生たちに映していききたいものです。

明日につながる学生 WEBSITE Happist

https://happist.net



QRコード読み取り

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介
- おぢばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生のお笑顔をお届け

学生に手渡しできるリーフレット
HAPPIST [NOT] NET
ハッピーリスト ネット

毎月 25 日発行。例会資料としてお配りしています。部数のご変更は学生担当委員会事務局編集部まで。

令和 4 年 学生担当委員会 活動方針 「共に教祖のようぼくに育つ」

令和 4 年 天理教学生担当委員会 活動方針

[基本方針]

共に教祖のようぼくに育つ

重点項目

一、日常の丹精の継続

〈ひのきしん〉の推進

学生と共にひのきしんを行い、そのなかで学生の話に耳を傾け、徳積み
の大切さや信仰の喜びを伝えていく。

〈別席〉の推進

なぜ別席を運ぶのかを説明し、学生が自ら進んでおさづけを取り次げるよ
うに丹精する。

一、おちばや教会につながる活動の推進

学生が、教祖の道具衆であるようぼくに育つためには、できるところからでも
活動を進めていきたい。

しかし、単に行事を再開するだけではなく、これまで以上に参加した学生に寄
り添い、おちばや教会につながることを意識した活動に取り組む。

「立教百八十五年 学生生徒修養会 大学の部」事前研修会 開催報告

「学生生徒修養会 大学の部」(第
一回・三月二日～六日、第二回・八
日～十二日)に先立ち、一月二十七
日～二十九日にかけて、第七・八・九
母屋を会場に「スタッフ事前研修
会」を行い、百三十五名が参加した。

研修会では、マスク必着や常時の
換気、一人一部屋での就寝、朝夕の
体温測定、食事時の黙食といった徹
底した感染対策を講じた上で開催
した。

今年も、よりきめ細やかな丹精を
目指して、各回ともに「よふき塾」
「いさみ塾」の合わせて四塾に分か
れ、塾長・副塾長を中心に男女カウ
ンセラーが世話取りにあたり、庶務
係・進行係が塾運営を担う体制をと
る。

研修会ではエクササイズ実習を

始め、「受講生と接する際の心構
え」についての講義や係ごとの打
ち合わせを実施した。

二日目の委員長講話において、
茶谷委員長は真柱様の年頭挨拶に
ふれながら「おちばで学ぶ機会が
減った若者にとって、学修の機会
はとても重要である」と話すこと
に、スタッフ一同には「心の成人
が大切である」とふれ、「皆さんの
お力を借りて、つとめさせていた
だきたい」と呼び掛けた。尚、閉
講式では中田善亮表統領より、激
励のお言葉をいただいた。

スタッフ一同は研修会を通して
学んだことを心に治め、本期間に
向けて各自が理づくりに励むこと
を誓い合い、幕を閉じた。

青空

私は 4 年間、学生担当委員会で勤めさせ
ていただき、Happist の編集業務に携わり
ました。Happist は、教区・直属学生担当
委員会の皆さまや全国の教会長様のご協
力、なにより読者である学生があつてこそ
の Happist です。この場をお借りして、お
礼申し上げます。ありがとうございます。
私が勤めた 4 年間は、Happist が月刊誌
からウェブサイトへ移行するというタイミ
ングで、とても貴重な経験をさせていただ
きました。お引き寄せいただいた親神様・
教祖に感謝しています。

スマホを持つことが当たり前となった
今、スマホでお道の話や学生会の情報を得
られることは、価値あることだと認識して
います。これからもそんな Happist が一人
でも多くの学生に届いたら、うれしく思い
ます。

4 月から新たな環境に身を置きますが、
ようぼくとしての役目を忘れず、自分の夢
を叶えるためにも、いろんなことにチャレ
ンジしていきます。

編集部員 松島慎平